

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスまはる宜野湾大謝名		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 12日		～ R7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R7年 3月 18日		～ R7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との情報共有が密におこなわれている。	利用時の活動内容や余暇活動の様子など詳細を伝え ている。 電話での連絡に加え、保護者様向け引き継ぎアプリ などを使用し、すぐに連絡が取れる体制を整えてい る。 毎週金曜日にzoom保護者会を行い、一週間の活動 様子を報告している。	親子参加型のイベントの実施。 保護者向け研修会の実施。
2	充実したプログラム(活動課題)の提供。	スタッフ会議をおこない、活動内容の振り返りや次 回に向けた活動のブラッシュアップをスタッフ全員 でおこなっている。 子ども達へもヒヤリングをおこない、プログラムに 盛り込むことでより、充実した活動課題の提供をし ている。	保護者様へアンケートを取り、プログラムの充実化 を図る。 地域のイベントへの参加や、近隣の児童館との交 流。
3	専門職考案の運動プログラムの提供。	一人ひとりに合わせた支援計画書の作成をおこな い、それに伴ってのプログラムの提供(感覚遊び、ス ポーツカリキュラム)、振り返り、保護者様へ共有を おこなっている。	専門的な療育用品(補助箸、姿勢保持器具など)の購入 を検討。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との共同活動などが少ない。	地域交流を目的としたプログラムの実施が少ない。	地域の施設(公民館、児童館)への訪問。 自治会への加入検討。
2	改善バリアフリー化ではないため、受け入れ利用 者の幅が狭まる。	建物の構造上、限界がある。	スロープなどの設置依頼をする。 完全バリアフリー化に近い環境を整える。
3			